

銀漢亭日録



伊藤伊那男

4月12日(金)

▼中根さん、家の清掃に入る。天気良し。買物など。店、閑散。「秋」佐怒賀正美さん等、青柳フエイさんと。谷口摩耶さんより「門」主宰、鈴木鷹夫氏逝去の知らせ。洋酔さん、島らつきよう持つて。

13日(土)

▼十時、発行所。運営委員会。早めに終る。久々、「いもや」の海老天定食を食べたら満腹で眠い、眠い。十三時、「銀漢本部句会」五十人。あと「上海美食酔仙酒店」にて親睦会。

15日(月)

▼店、「展枝さん誕生日、小石さん編集長就任をこそこそ祝う会」として二十人程が集まる。酒、肴などの差入れ数多。

16日(火)

▼十一時、綾瀬の千代田城北ホール。「門」主宰・鈴木鷹夫氏告別式。「銀漢亭」に来られた時に、「伊那男さん、選句は楽しいね、楽しいね」とおっしゃっていたことを思い出す。あと、「山暦」前澤宏光(高校先輩)、「対岸」福井隆子さんと茶。店、閑散。

17日(水)

▼「三水会」六人。久々、大住光注君。加藤恵介君は高遠から。広渡敬雄さん会社仲間と六人。発行所「はてな句会」あと三人……賑やか！中島凌雲君より送別句会のお礼として銘酒三本到来。柴山つぐ子さんから嬌恋村のクレソンなど。

18日(木)

▼洋酔、宗一郎、鶯巢さんなど。「銀漢句会」あと十六人。まずまずの賑わい。

20日(土)

▼十一時半、神保町「咸亨酒店」。皆川丈人、皆川文弘さんとの会食。当方、禪次、洋酔。十四時、日本橋「与志喜」で「纏句会」。昼の紹興酒が効いてうとうと。十七時半、水内慶太主宰「月の匣」三周年記念会、日暮里の本行寺に招かれる。宴席のあと本堂にて、金原亭伯楽師匠の落語「文七元結」を聞き泣く。あとカラオケスナックで二次会。昼からずつと飲みつばなしの一日。

22日(月)

▼「湯島句会」出句百五人、出席三十六人。スムーズな句会運びで二十時過ぎには酒宴に入る。

23日(火)

▼「銀漢萩句会」に選句。入沢さん、春行士さん。ドイツ人客四人。春行士さんが通訳してくださる。池田のりをさん友人と。「未来図」守屋編集長。帰路、地元のイタリアンレストランに久々。ワイン、パスタ……ああ、また。

24日(水)

▼「雛句会」六人。「りの」山崎祐子さん教え子五人。……「月の匣」水内主宰一派など。そこそこの賑わい。

25日(木)

▼十三時半、日刊ゲンダイの記者、吉田慎治さん「吉田類 大衆酒場100選」の連載記事の取材に。五月中旬に「銀漢亭」掲載の予定(居酒屋としてもそこそこの評価があるのです)。発行所「金星句会」終って七人。日原傳さん他「天為俳句会」発行所句会の面々。「ホトトギス」今井肖子、相沢文子、阪西敦子さん等、千四百号記念会の打合せのあと。

27日(土)

▼27日(土)、28日(日)、29日(月)三連休。思い切りぐずぐず過す。最終日はオリックス時代の友人

30日(火)

と上司(故人)宅。奥様の歓待を受ける。▼連休の谷間。「俳句界」パーティーのあとの対馬康子さん。石地まゆみさんが鈴木節子さんと。鷹夫氏逝去あと初めて。お元気でほつとする。

5月2日(木)

▼発行所「十六夜句会」。終って十人。眞理子、いづみさんの誕生日とてバースデーケーキ二つ。新会員三人。カウンターも賑わう。

4日(土)

▼十時、運営委員会。昼、「ろしあ亭」のランチセツト。十三時、「銀漢本部句会」、四十七人。あとすずらん通りの四川料理「川府」。「俳句」七月号へ朝妻力句集『伊吹嶺』の一句鑑賞。

5日(日)

▼昼から成城、桃子の家。全員集合。カラスミ、蒸鮑など持参。シャンパンで乾杯！

7日(火)

▼昨日今日で出雲国造千家の『出雲大社』読む。店、国会議員のT氏久々。発行所「かさ、ぎ勉強会」(沢木欣一と)、終って十二人。閉店前に中島凌雲駆けつける。禪次さんが「銀漢亭」十周年とて「マキシム・ド・パリ」のケーキ二基用意してくれる。

8日(水)

▼発行所、昼、「梶の葉句会」選句。夜、事業部、「御嶽山鍛錬句会」の打合せ。店の奥「ささらぎ句会」七人。毎日新聞の鈴木琢磨氏。伊那北高校先輩の前三井住友海上火災社長井ノ口氏、後輩NHK「坂の上の雲」のチーフディレクター西村与志木氏、三浦氏。大林組役員岸田誠氏など。西村麒麟夫妻久々。賑やか。

9日(木)

▼店、鳥居真里子さん、敦子さんと。どこかの対談のあと。閑散。二十三時閉める。

10日(金)

▼店休みとする。四時超、品川六時半頃の新幹線。名古屋まで眠りこける。岡山からやくも七号で安来。十六名集合。足立美術館。庭にも収蔵品にも圧倒される。十七時過、松江駅前ホテル。夕食前に一人、近くの「根っこ」という居酒屋。カメの手煮、刺身などでビール。戻って食事と句会。あと有志で再び「根っこ」に繰り出し、のどろの刺身など。酒は「王様」。

11日(土)

▼五時半集合となっていたが五時半に電話で起こされる。失態。一畑電鉄の始発で出雲大社へ向かう。稲佐浜に直行し大社へ。本殿遷座奉幣祭。その時空に八雲の筋が顕われる。本当です！出雲そば。古代出雲歴史博物館を見て大社参拝。バスにて日御碕へ。日御碕神社、海猫の経島、素戔鳴尊の墳。十八時、宍道湖畔「すいてんかく」にて夕食と句会。あとまたまた「根っこ」。

12日(日)

▼七時、チャーターしたバスにて菅谷たたら場。朝日光男館長の丁寧な説明を受ける。田部屋敷、加茂岩倉遺跡、荒神谷遺跡を巡る。出雲そばの昼食。四隅突出型古墳群を見て黄泉比良坂。十五時のやくも号にて帰路へ。

13日(月)

▼発行所「湯島句会」運営委員会。現行の方法での運営は限界にて六月の会をもって終会とし、新たな句会発足を模索することとする。終って十二人店。客少なし。

14日(火)

▼「火の会」十人。「天為」編集部、最終校正のあとと。「俳句aあるふあ」の「俳句が生まれる現場」、掲載七ページ、発売。